



ロータリーは世界をつなぐ

RI会長 :マーク・ダニエル・マローニー(米国) 地区ガバナー: 古瀬俱之 (出雲中央RC)  
 会長 : 坂本高司 幹事 : 田中康裕 雑誌・会報 : 杉村忠輔

【第1489回例会次第(2019年12月第1回)】

日時:2019年12月2日(月) 12:30～  
 会場:ANAクラウンプラザホテル米子  
 〈12月〉 疾病予防と治療月間

1. 開会点鐘
2. 「君が代」「奉仕の理想」斉唱
3. 来賓及びビジター紹介
4. 会長挨拶
5. RHESC支援金贈呈
6. SAA報告
7. 幹事報告

- A. 例会変更のお知らせ ビジター受付
- |                        |    |
|------------------------|----|
| 米子中央RC…12/ 5(木)夜間例会    | あり |
| 米子RC……………12/ 6(金)休会    | なし |
| 境港RC……………12/17(火)夜間例会  | あり |
| 米子東RC……………12/18(水)夜間例会 | あり |
| 米子中央RC…12/19(木)夜間例会    | あり |
| 米子RC……………12/20(金)夜間例会  | あり |

- B. その他
8. 委員会報告

- A. 親睦・出席委員会  
 出席報告・ファミリーの日・スマイル発表

9. 【イニシエーションスピーチ】 佐藤城

10. 【午輪句会講評】 中村夢窓 主宰

11. 閉会点鐘

**お知らせ**

- ・12/ 2(月)13:30～ 定例理事会  
 ANAクラウンプラザホテル米子
- ・12/15(日)14:00～ 地区次期R財団委員長研修会  
 ANAクラウンプラザホテル岡山
- ・12/31(火)23:00～ 新年拝賀式 勝田神社

【第1488回例会記録(2019年11月第2回)】

日時:2019年11月18日(月) 12:30～  
 会場:ANAクラウンプラザホテル米子  
**出席率 68名**[内免除10名] 中 35名 60.34%  
**米山BOX 775円**(累計 44, 194円)

スマイル  
 濱田吉隆様(高松グリーンRC 会長)…米子南RC様 ありがとうございます。  
 坂本高司会長…濱田吉隆会長をはじめ、多くの高松グリーンロータリークラブの皆様のご来訪を心から歓迎申し上げます。  
 三保文嗣…高松グリーンロータリークラブ交流ゴルフ会、秋の大山平原で盛会でした。

【卓話】「ワンス・アポン・ナ・タイム・イン・ジャパン」  
 多羅尾 整治

今年126代天皇が誕生した。初代天皇は神武で、日本書紀に紀元前660年に即位したとある。古事記には、『神武は日向の高千穂に住んでいたが、都の適地を求めて東方遠征を決定。日向(都農)を出て筑紫の宇佐に到り、その北西の岡田宮に一年滞在後対岸の安芸に渡り七年を過ごした。だが適地ではなく吉備に移動して八年過ごした。そこも適地ではなく海路東に向かい、紆余曲折を経て橿原の宮で即位した』とある。なぜ神武が天皇になったのか?古事記・日本書紀の神話部分には、「日本列島を造った高天原族の長アマテラスの6代目子孫」とある。

古事記は、高天原族を“天津神”、他部族を“国津神”と位置づけた上で、アマテラスが長男の息子つまり孫を“国津神”の地“葦原中国”統治に行かせたと述べている。これが“天孫降臨”で、その地は“竺紫の日向の高千穂”。

この孫の3代目子孫が神武、よって神武は神で、その血筋も永遠に神。(裏面へ)

今後の米子南RC例会			
日 時	第 回例会	内 容	場 所
12月 9日(月)12:30～13:30	第1490回 (12月第2例会)	イニシエーションスピーチ 小川敦弘、加藤典史、奥野博昭	ANACP ホテル米子
12月16日(月)12:30～13:30	第1491回 (12月第3例会) 年内最終例会	【卓話】「高齢者の事故傾向と先進安全自動車(ASV)の紹介」 日本自動車連盟鳥取支部 支所長 大目弘之 氏	ANACP ホテル米子
1月10日(金)18:30～20:30	第1492回 (1月第1例会)	新年例会 大森亜希子とLa Deux演奏	ANACP ホテル米子

古事記編纂を命じたのは40代天武天皇。天皇とは、“全部族の王が最上位の王”と認めた者。天武以前は西日本各地に王がおり、高天原族もその一つ。天武の代になって何とか西日本を制覇して天皇の称号が使えるようになった。

古事記は、高天原族の“国家統治者としての正当・正統性の証明”を目的として物語形式で編纂されたのだが、批判部族を納得させることも大きな目的だったのではないか。

というのは、神武よりずっと以前、西日本に秩序をもたらしていた大王部族が存在した。大王没後に秩序が乱れ始め、最終的には高天原族が軍事介入と後継者懐柔により崩壊させた。各部族はその事実を伝承しており、崩壊させた大王部族を取り込んで大王面している高天原族に対して、根強い不信・反感を持っていた。そのために、崩壊行為を「国譲り」という形に変えて伝えた。史実に関しては、強い反論が出ない程度に編集し表現も工夫したのだが、各部族が知る地名を変えることはできなかった。神話部分の50%以上が山陰地方であるという事実がそれを示しているのではないか。新天皇即位は「象徴天皇」の意味を全国民が考える機会となったが、人間の歴史として神武以前の日本を語れば山陰に存在した「古代出雲王権」に光が当たるであろう。これをロータリーメンバーが十分に認識し、多くの皆さんにこの地方の歴史を啓発して頂きたい。今年是新元号の年でもあり、良い機会ではないかと思う。（清水幸憲 記）

十月二十八日夕、真誠会セントラルレジデンスにて、第百十九回午輪句会を開催しました。当日互選された句の中から（中村夢窓会員により）一句ずつ選び、掲載します。

どこまでも <small>すらいれない</small> 宙紅の秋夕焼	長谷川義明
駄菓子下げこうべを垂れし地蔵盆	廣谷栄一
大典も天も寿ぐ秋の虹	鹿島康裕
松虫の声遠のきて夢心地	前田寿美
柿の実のたわわに赤き無人駅	三保文峰
グラス手に犬に語りて夜長かな	坂口千丘
露草や月山富田城 <small>びん</small> 惘然と	坂本胡北
幼子の得意に見せる稚二つ	佐々木博正
花蕎麦は小さき庭の薄明り	鶴田和風
深閑として更けてゆく神無月	中村夢窓

次の句会は一月二十七日（月）、真誠会セントラルレジデンスにて開催の予定です。

親睦委員会 鹿島 康裕  
俳句同好会世話人 佐々木博正